

# Daigasグループとは どのような企業なのか？

Daigasグループは、国内・海外のエネルギー事業に加え、  
ライフ&ビジネス ソリューション(LBS)事業など、  
当社グループのバリューチェーンやノウハウを生かして、既存事業の強化や  
新たな事業領域の拡大に挑戦し続ける総合エネルギー企業です。

その設立から現在に至るまでの事業成長の歴史と、  
価値創造のプロセスについてご紹介します。

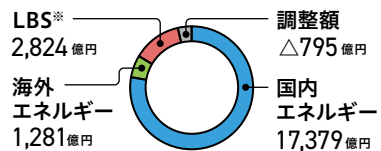
## Daigasグループの概要

- 16 At a Glance
- 17 Daigasグループ 事業成長の歴史
- 19 事業紹介
- 20 価値創造プロセス
- 21 競争力のある資本



# At a Glance [2025年3月期]

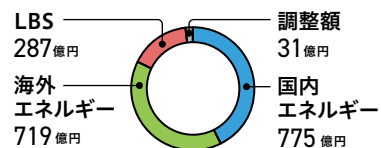
## 連結売上高



**20,690** 億円

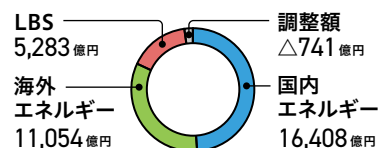
※ライフ&ビジネス ソリューション

## セグメント利益



**1,813** 億円

## セグメント資産



**32,005** 億円

## 連結子会社数



**163** 社

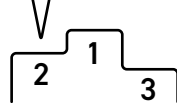
## 連結従業員数



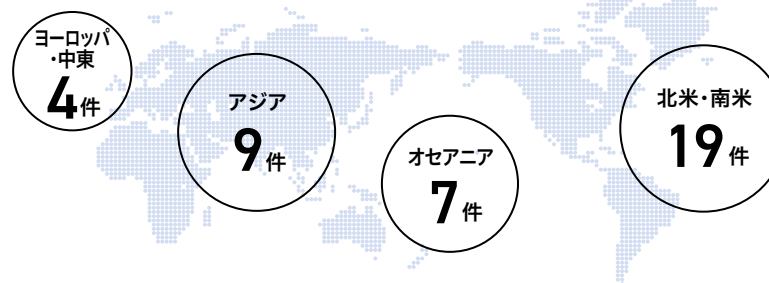
**21,404** 人

## 都市ガスの国内販売シェア

**第2位** (約20%)



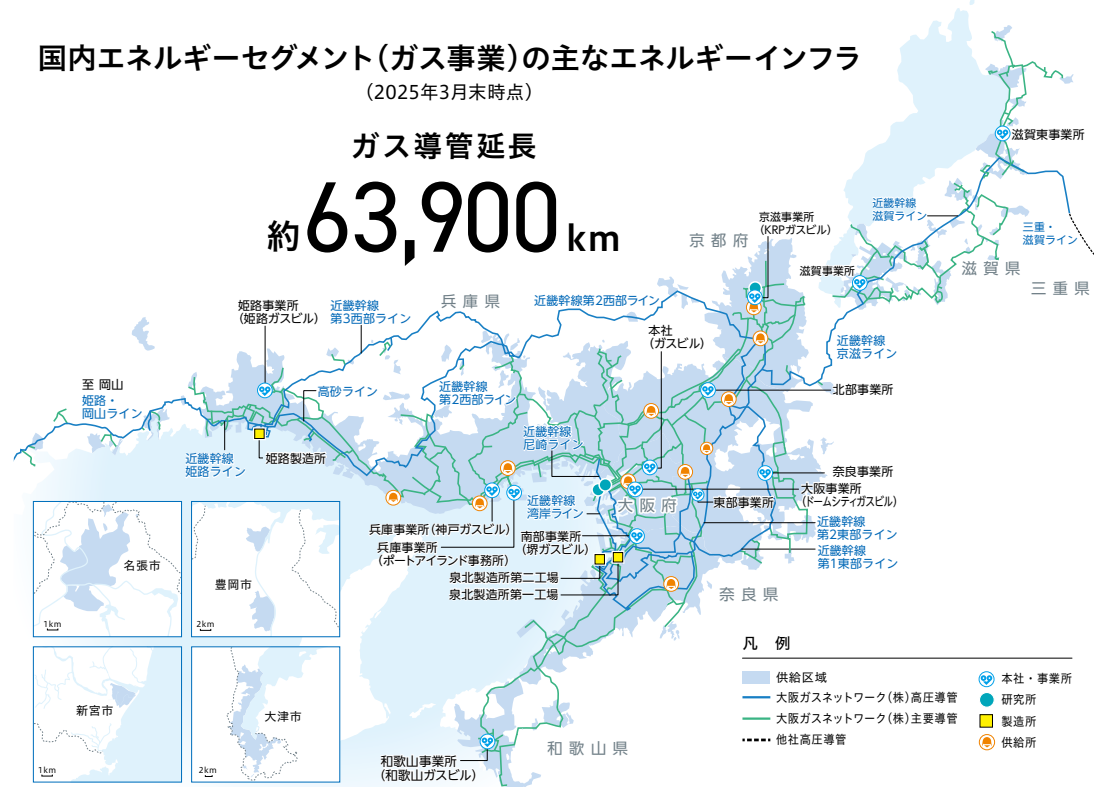
## 海外エネルギーセグメントの事業プロジェクト



## 国内エネルギーセグメント(ガス事業)の主なエネルギーインフラ (2025年3月末時点)

### ガス導管延長

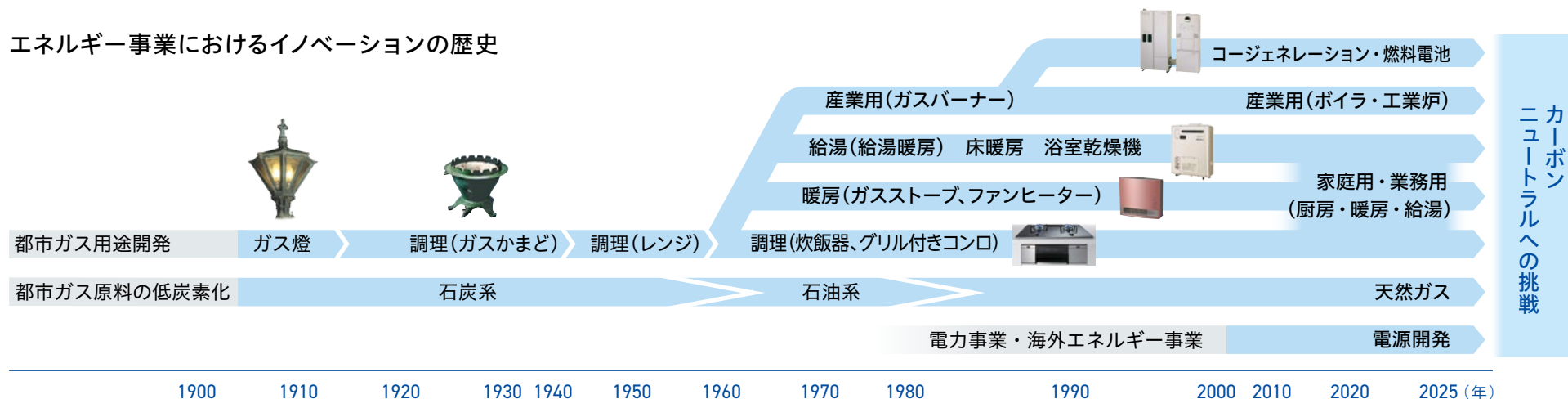
**約63,900** km



# Daigasグループ 事業成長の歴史

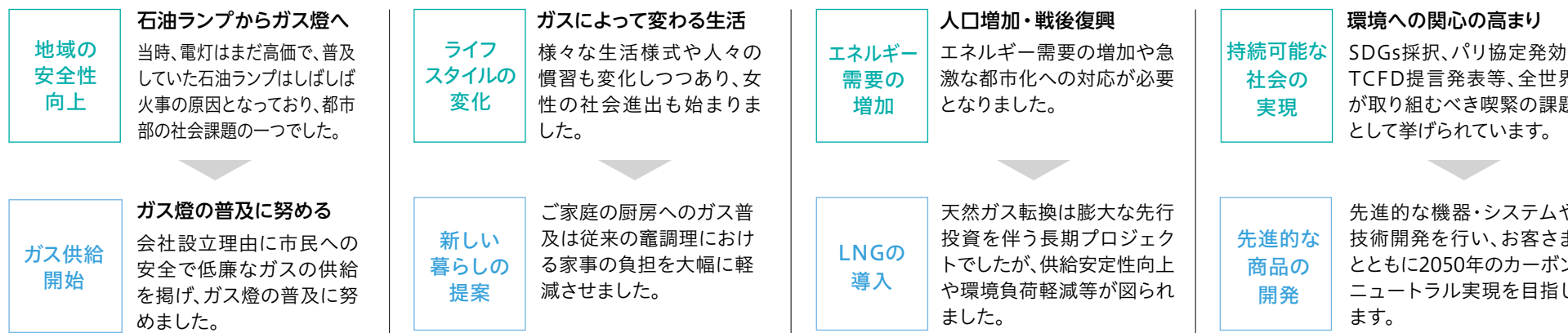
Daigasグループは1905年(明治38年)にガスの供給を開始しました。それから120年、ガス燈を灯すことから始まったガス事業は、社会や環境変化のなかで幾多の困難にぶつかりながらも、調理、暖房、給湯、発電まで用途を広げてきました。また、エネルギー事業で培ったお客さまや地域とのつながりを源泉に、事業領域を拡大し、多様な商品・サービス・ソリューションを提供する企業グループに発展してきました。

## エネルギー事業におけるイノベーションの歴史



## 社会的背景とグループの取り組み

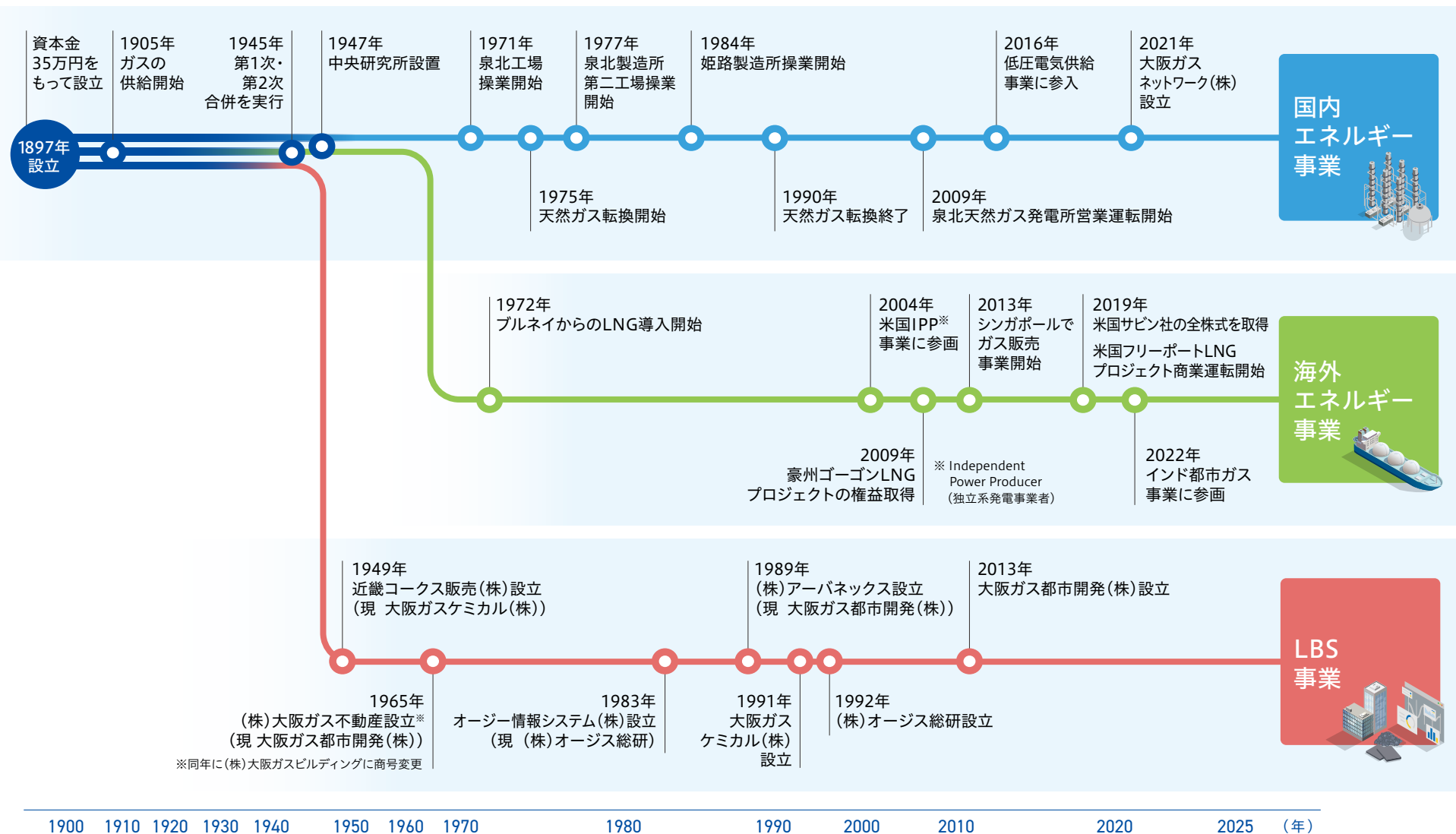
### 社会課題・ニーズ



### Daigasグループの価値共創



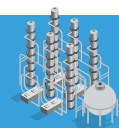
## グループ事業における成長の歴史



# 事業紹介

Daigasグループは国内エネルギー事業、海外エネルギー事業、ライフ&ビジネス ソリューション(LBS)事業という3つの事業分野で培ったノウハウと競争力のある資本を活用し、既存事業のさらなる成長と、国内外を問わず新たな事業領域の拡大に積極的にチャレンジすることで、複数の事業の集合体としての進化と「ミライ価値」の実現を目指します。

## 国内エネルギー事業



### 事業ユニット ガス製造・エンジニアリング/電力

ガス製造所のオペレーション・メンテナンス業務や火力発電所や再生可能エネルギー発電所の開発・運転・維持管理等を担っています。低炭素なLNGやCO<sub>2</sub>フリーの電力など多彩なエネルギーの提供に加え、エンジニアリング事業やプラントの設計など、低・脱炭素社会実現に向けた技術開発等により環境価値を創造しています。



### 事業ユニット ネットワーク

大阪ガスネットワーク(株)<sup>\*</sup>は都市ガス供給の強固なネットワークと万全の保安体制を構築するとともに、ノウハウの深化や最先端のデジタル技術の活用によって、安心・安全に都市ガスを届けています。



<sup>\*</sup>2021年4月1日に分社準備会社として設立、2022年に分社化

### 事業ユニット エナジーソリューション

ご家庭や業務用・産業用のお客さまに向け、エネルギーをはじめとする先進的な商品・サービスの開発や、その販売拡大に取り組み、お客さまへの先進的で多様なソリューションの共創に取り組んでいます。



### 事業ユニット トレード

LNGの調達先・価格指標等の多様化を進め、安定的に調達したLNGを国内外のお客さまに供給しています。

## 海外エネルギー事業



### 事業ユニット 資源・海外

米国・アジア・オセアニアを中心に海外事業を成長・拡大させています。

#### 上流

米国シェールガス開発会社(サビン社)をはじめとするガス田プロジェクトを通じて、生産量・利益拡大に取り組んでいます。

#### 北米中下流

国内で培ったノウハウを活用して、海外での発電事業やLNG基地事業、エネルギーサービス事業などに参画しています。

#### アジア

国内都市ガス事業で培った経験・強みを生かし、都市ガスインフラの整備を進め販売拡大に取り組んでいます。再生可能エネルギー事業等にも取り組み、アジア諸国の経済発展とエネルギーの低炭素化に貢献しています。



## ライフ&ビジネスソリューション(LBS)事業



### 事業ユニット 都市開発

分譲・賃貸マンション、オフィスビル、物流施設などの物件の開発、運営管理、私募リートへの物件売却など、不動産事業を幅広く展開しています。



### 事業ユニット 情報

当社グループの事業向けシステム開発・運用を祖業とし、M&Aによりシステム技術を高めつつ、ITコンサルティング、システム開発、運用管理、データ分析等を通じて、社内外のニーズに応じたトータルソリューションを提供し、デジタル化を支援しています。



### 事業ユニット 材料

大阪ガスが培った石炭化学技術(石炭を原料としたガス製造の副産物の応用等)により、ファイン材料、保存剤、炭素材料、活性炭といった高機能素材の研究開発、製造、販売を行い、国内外で幅広く事業を展開しています。



# 価値創造プロセス

Daigasグループは創業以来大切に  
してきた価値観とこれまで培った競争  
力のある資本をもとに、持続可能な社  
会と価値創造の実現を目指します。



※1 ROIC、ROEは2030年代早期段階の目標  
※2 アドバンテッジタフネス調査を利用している企業のワークエンゲージメント結果における偏差値

# 競争力のある資本

Daigasグループが保有する競争力のある資本を戦略的に強化し、持続的な成長を目指します。

| 財務資本                                                                                               | 製造資本                                                                                                          | 知的資本                                                                                                                              | 人的資本                                                                                                                                | 社会資本                                                                                                               | 自然資本                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>持続的な事業成長を目指して、規律ある財務戦略に支えられた強固で健全な財務基盤を維持しつつ、企業価値の最大化を図ります。</p>                                 | <p>エネルギー供給のための様々な設備は、当社グループにとって欠かすことのできない資本です。</p> <p>トランジション期の成長領域として、天然ガス発電所やシェールガス開発等の製造資本を強化していきます。</p>   | <p>エネルギー事業で培ったガス合成・触媒に関する技術や、LNG受け入れ基地等の設計・建設技術など、様々な技術開発の知見を保有しています。これらの知的財産を活用するとともに、e-メタンの導入等、カーボンニュートラルに資する技術開発を強化していきます。</p> | <p>中長期的な企業価値向上のためには非連続なイノベーションを生み出すことが重要であり、その原動力となるのは多様な個人による共創と考えています。従業員一人ひとりのエンゲージメント向上に加え、人材の確保・育成を強化し、持続的な成長を目指します。</p>       | <p>地域に根差した事業を展開する当社グループは、幅広い分野のステークホルダーと接点を持つ機会を有し、信頼関係を構築しています。ステークホルダーとの連携によるサービス創出を強化し、事業の持続的な成長を目指します。</p>     | <p>天然ガスは限りある資源と認識し、効率・効果的な利用に努めるとともにエネルギーの安定供給、保安の確保のため、エネルギー源の多様化を進めています。天然ガスと再生可能エネルギーの有効活用により、“S+3E※”の実現を目指します。</p> <p>※S+3E: 安全性 (Safety)、安定供給 (Energy security)、経済効率性 (Economic efficiency)、環境性 (Environment)</p> |
| 2025年3月期末時点                                                                                        |                                                                                                               |                                                                                                                                   |                                                                                                                                     |                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>[財務健全性※]</p> <p>自己資本比率 <b>55.5%</b></p> <p>D/E比率 <b>0.50</b>倍</p> <p>※発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整</p> | <p>設備投資額(2024年度実績)</p> <p><b>2,217</b>億円</p> <p>ガス製造所 <b>2</b>カ所</p> <p>中央指令室※</p> <p>※24時間365日の安定供給・保安確保</p> | <p>特許保有件数(国内)</p> <p><b>2,740</b>件</p> <p>研究開発費(2024年度実績)</p> <p><b>126.9</b>億円</p> <p>セグメントごとの開発費(国内エネルギー:93.7億円 LBS:33.2億円)</p> | <p>グループ従業員数</p> <p><b>21,404</b>人</p> <p>ワークエンゲージメントスコア※</p> <p><b>52.2</b></p> <p>※アドバンテッジタフネス調査を利用している企業のワークエンゲージメント結果における偏差値</p> | <p>サービスチェーン数 約<b>200</b>拠点</p> <p>低圧電気供給件数 約<b>192</b>万件</p> <p>ガス供給件数 約<b>511</b>万件</p> <p>ステークホルダーの皆さまとの共創関係</p> | <p>LNG取扱量(2024年度実績)</p> <p>約<b>1,120</b>万トン</p> <p>再生エネ普及貢献量</p> <p><b>370</b>万kW</p>                                                                                                                                  |

## 「中期経営計画2026」目標

## さらなる強化の方向性

### 財務健全性に配慮しながら財務レバレッジを拡大

ROIC 5.0%程度  
ROE 8.0%程度  
自己資本比率 45%以上  
D/E比率 0.8以下(2026年度)  
P.11-P.12、P.38

### 姫路天然ガス発電所の建設等の電力事業、米国のシェールガス開発の加速等

成長投資のうち、重点成長領域への投資約4,600億円(2024年度-2026年度)  
P.24、P.41、P.43

### メタネーション技術開発の推進

成長投資のうち、カーボンニュートラル領域への投資 約1,000億円(2024年度-2026年度)  
P.24、P.29

### 人材の確保・育成の強化

P.36

### ステークホルダーとの連携による新ビジネス・新サービスの創出

P.35

### 再生可能エネルギーの普及に向けた貢献

再生エネ普及貢献量400万kW(2026年度)  
P.41